

20251027_i-スマ定例会（10月）_議事録（要旨版）

【開催概要】

開催日時：2025年10月27日（月）10:30～11:40

開催方法：オンライン（Teams）

参加団体数：28団体

【会長挨拶】

白鳥会長から、日ごろの協力に対する感謝の意が述べられました。今後、i-スマが“2周年”の活動段階に入ることを踏まえ、更なる発展に向けてどのような方向性を描くべきか、協議を進めていきたいとの方針が示されました。

【1. i-スマ運営関連】

新規参画団体として、以下3団体より挨拶がありました。

- Huney Hunt 株式会社：今後の活動参加を通じて理解を深めたい意向が示されました。
- 大日本印刷株式会社：MaaS や XR/メタバースを活用した事例紹介や、会員のデータやソリューションとの連携によって社会課題解決に貢献したい考えが示されました。
- 株式会社フットネスト：医療従事者と連携し、フットケアや歩行支援など地域に根ざした活動を展開中。エイムズエーとの連携事例も紹介されました。

【2. 地域 DX に係る活動概況】

一宮市の地域 DX の全体像および 2024 年度の取り組み状況が説明されました。

【3. 既存事業の情報共有 | 2025 年度実装事業】

2025 年度実装予定の事業一覧に関する説明に加え、以下の内容が共有されました。

- ソフトバンクから、10月22日にリリースされたサービス「防災 LINE」の概要が紹介されました。
- 一宮市からは、この防災 LINE と「イチ・デジ」の ID 連携・マイナンバーカード登録を推進するキャンペーンの案内（抽選で一宮市内在住の 12,000 名に 2,000 ポイント付与）がありました。キャンペーン実施にあたっては ICC が事務局業務を担うことが紹介され、会員企業によるポスター掲示やチラシ配布、SNS による情報発信への協力要請も行われました。

【4. 新規事業の検討 | 2027 年度実装事業のアイデア検討】

ソリューション紹介の希望者がいなかったため、本会では割愛されました。

【5. その他 | 会員/WG 等からの情報共有】

以下の内容が共有されました。

- **WG**（ワーキンググループ）の位置づけ・設立方針について、事務局から説明がありました。承認手続きは不要ですが、目的や体制を定例会で紹介することが推奨されました。
- 白鳥会長から、「広報 **WG**」の試験運用が始まっており、今後の参画希望者募集や、他の **WG**（ビジネスマッチング **WG**、デジタルデバイド対策 **WG**）設立の検討が進められていることが示されました。
- 基盤 **WG** については、11 月に新規参画者向け説明会、12 月にはイチ・デジの **CMS** 操作説明会が予定されている旨が共有されました。

質疑応答・意見交換：

- 4DIN から、防災 **LINE** の普及には世代別広報・周知の工夫が重要との提案がありました。
- 一宮研伸大学からは、学内 **WG** 設立を通じたデジタルデバイド対策への貢献意向が示されました。
- エイムズエーからは、これまでのスマホ教室実績の紹介と、さらにデジタルデバイド対策を進めるにあたり市・会員からの協力が重要である旨の考えと、**WG** 設立の検討について示されました。

【6. 次回以降の i-スマ活動について】

11 月以降のスケジュールに関する簡単な案内が行われました。

【総括】

白鳥会長から、会員数やサービス数が増加する中で「市民のためにより良くする」という視点が、より重要になるとの認識が共有されました。引き続き、会員からの積極的な協力が呼びかけられました。